

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-301533

(43)Date of publication of application : 31.10.2001

(51)Int.Cl.

B60R 7/08

G09F 1/10

(21)Application number : 2000-117094

(71)Applicant : PIOLAX INC

(22)Date of filing : 18.04.2000

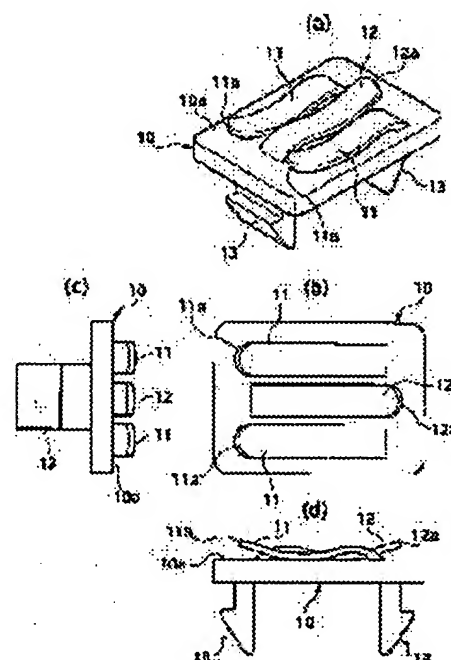
(72)Inventor : NAKAJIMA TAKESHI  
ARISAKA HIROSHI

## (54) CARD HOLDER FOR AUTOMOBILE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve operability by enabling inserting and holding a card from a plurality of directions.

SOLUTION: A card holder includes a pair of first clip pieces 11, 11 extending side by side with a predetermined space and a second clip piece 12 extending along the clip pieces 11, 11 in the space between the first clip pieces 11, 11 provided on a surface of a holder body 10 attached in a cabin of an automobile. The first clip pieces 11, 11 and the second clip piece 12 extend oppositely along the surface 10a of the holder body 10, and an insertion direction of a card to the second clip piece 12 is opposite to that of the first clip pieces 11, 11.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-301533

(P2001-301533A)

(43) 公開日 平成13年10月31日 (2001.10.31)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
B 6 0 R 7/08		B 6 0 R 7/08	Z 3 D 0 2 2
G 0 9 F 1/10		G 0 9 F 1/10	M

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-117094(P2000-117094)

(22) 出願日 平成12年4月18日 (2000.4.18)

(71) 出願人 000124096

株式会社バイオラックス

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

(72) 発明者 中島 武司

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

株式会社バイオラックス内

(72) 発明者 有坂 洋

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

株式会社バイオラックス内

(74) 代理人 100101867

弁理士 山本 寿武

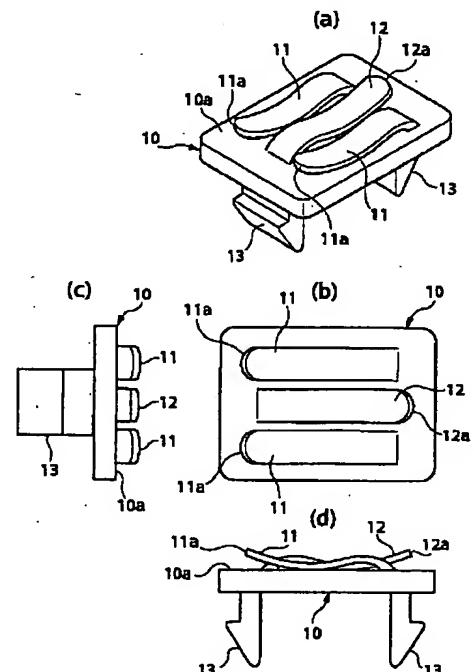
Fターム(参考) 3D022 CA14 CB01 CC01 CC07 CC11  
CC13 CC15 CD06 CD09

(54) 【発明の名称】 自動車用カードホルダ

(57) 【要約】

【課題】 複数の方向からカードを差し込み保持することを可能として操作性の向上を図る。

【解決手段】 自動車室内に装着されるホルダ本体10の表面に、一定の間隔を隔てて並行に延出する一対の第1クリップ片11、11と、これら第1クリップ片11、11の間隙を該クリップ片11、11に沿って延出する第2クリップ片12とを備える。第1クリップ片11、11と第2クリップ片12とは、ホルダ本体10の表面10aに沿って逆向きに延出しており、第2クリップ片12に対するカードの差し込み方向は、第1クリップ片11と逆の方向になっている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動車室内に装着されるホルダ本体の表面に、一定の間隔を隔てて並行に延出する一対の第1クリップ片と、これら第1クリップ片の間隙を該クリップ片に沿って延出する第2クリップ片とを備え、これら第1、第2クリップ片をホルダ本体の表面に沿って互いに逆向きに延出させたことを特徴とする自動車用カードホルダ。

【請求項2】 自動車室内に装着されるホルダ本体の表面からクリップ片を延出してなる自動車用カードホルダにおいて、前記クリップ片は、基部から中間部にかけての領域がホルダ本体の表面に沿って延びる第1クリップ部を形成するとともに、中間部が逆向きに折り返されて、該中間部から先端部にかけての領域が第1クリップ部に沿って延びる第2クリップ部を形成していることを特徴とする自動車用カードホルダ。

【請求項3】 自動車室内に装着されるホルダ本体の表面から該表面に沿って延出する第1クリップ片を備え、且つ前記第1クリップ片の中腹部を切欠き、該中腹部に第1クリップ片の先端部近傍から基部方向に延びる第2クリップ片を形成したことを特徴とする自動車用カードホルダ。

【請求項4】 自動車室内に装着されるホルダ本体と、このホルダ本体の表面に沿って配設される四辺形状のクリップ板とを備え、前記クリップ板は、一辺の隅部で前記ホルダ本体に結合していることを特徴とする自動車用カードホルダ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、自動車の室内に装着されて各種カードを保持することができる自動車用カードホルダに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、この種のカードホルダは、特開平8-282384号公報に示されたものをはじめとして種々の構成のものが提案されている。これら従来のカードホルダは、ホルダ本体から延出する弾性保持片を備え、該弾性保持片とホルダ本体表面との間にカードを差し込み、弾性保持片の弾性力をもってカードを保持する構成となっているが、一般にカードの差し込み方向は弾性保持片の先端から基部へ向かう方向に規定されており、その他の方向からのカード差し込み操作は想定されていない。...

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ユーザによっては右利き左利きの違いやカード差し込み操作時の姿勢などによって、規定された差し込み方向からの操作がやりにくく不便を感じる事があった。特に、自動車運転中は、普段では気にならないような僅かな不便さも大きなストレスとなるため、改善が望まれていた。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は斯かる事情に鑑みてなされたもので、請求項1の発明は、自動車室内に装着されるホルダ本体の表面に、一定の間隔を隔てて並行に延出する一対の第1クリップ片と、これら第1クリップ片の間隙を該クリップ片に沿って延出する第2クリップ片とを備え、これら第1、第2クリップ片をホルダ本体の表面に沿って互いに逆向きに延出させたことを特徴とする。

【0005】また、請求項2の発明は、自動車室内に装着されるホルダ本体の表面からクリップ片を延出してなる自動車用カードホルダにおいて、前記クリップ片は、基部から中間部にかけての領域がホルダ本体の表面に沿って延びる第1クリップ部を形成するとともに、中間部が逆向きに折り返されて、該中間部から先端部にかけての領域が第1クリップ部に沿って延びる第2クリップ部を形成していることを特徴とする。

【0006】請求項3の発明は、自動車室内に装着されるホルダ本体の表面から該表面に沿って延出する第1クリップ片を備え、且つ前記第1クリップ片の中腹部を切欠き、該中腹部に第1クリップ片の先端部近傍から基部方向に延びる第2クリップ片を形成したことを特徴とする。

【0007】そして、請求項4の発明は、自動車室内に装着されるホルダ本体と、このホルダ本体の表面に沿って配設される四辺形状のクリップ板とを備え、前記クリップ板は、一辺の隅部で前記ホルダ本体に結合していることを特徴とする。

【0008】上述した請求項1の発明によれば、第1、第2クリップ片をホルダ本体の表面に沿って互いに逆向きに延出させたので、第1クリップ片にカードを保持させる場合と、第2クリップ片にカードを保持させる場合とで、カードの差し込む方向が逆になる。したがって、二方向からカードを差し込み保持させることができ、操作性が向上する。

【0009】また、請求項2の発明によれば、クリップ片を中間部で折り返すことにより第1、第2クリップ部が形成されており、これら各クリップ部がそれぞれ逆方向からカードを差し込み保持できる構成となっているので、この場合も二方向からカードを差し込み保持させることができ、操作性が向上する。また、本発明の構成によれば、各クリップ部に同時にカードを保持させることが可能であるため、保持可能なカード枚数が多く利便性が向上する。

【0010】請求項3の発明によれば、第1クリップ片に対して第2クリップ片が延出する構成となっているので、この場合も二方向からカードを差し込み保持させることができ、操作性が向上する。しかも、本発明の構成によっても、各クリップ片に同時にカードを保持させることが可能であるため、保持可能なカード枚数が多く利

便性が向上する。

【0011】請求項4の発明によれば、四辺形状のクリップ板の弾力的な撓み変形を規制する部位（すなわち、ホルダ本体との結合部）が一辺の隅部という小領域に設定されているので、該クリップ板はいずれの方向からカードが差し込まれても柔軟に弾性変形して該カードを受け入れることが可能であり、きわめて良好な操作性を有している。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。図1及び図2は本発明の第1実施形態に係る自動車用カードホルダを示している。まず、これらの図面を参照して本発明の第1実施形態について説明する。図1に示す自動車用カードホルダは、自動車室内に装着されるホルダ本体10の表面に、一定の間隔を隔てて並行に延出する一対の第1クリップ片11、11と、これら第1クリップ片11、11の間隙を該クリップ片11、11に沿って延出する第2クリップ片12とを備えており、これら各部が樹脂成形により一体成形されている。

【0013】ホルダ本体10は、平坦な表面10aを有し、この表面10aがカードの受面を形成している。ホルダ本体10の背面からは、自動車室内へ装着するための係止爪13が形成しており、例えば、自動車の室内壁にあらかじめ形成されているオプション部品の装着孔にホルダ本体10を嵌め込み、該装着孔の周縁部に係止爪13を係止することで、簡易に装着可能となっている。図ではホルダ本体10を四角形状に形成してあるが、これに限定されるものではなく、例えば、上記のごとく自動車の室内壁にあらかじめ形成されたオプション部品の装着孔に適合するようホルダ本体10の形状を設定することが好ましい。

【0014】一対の第1クリップ片11、11は、ホルダ本体10の表面10aに沿って同じ方向に延出している。これら第1クリップ片11、11は、中間領域がホルダ本体10の表面10aに向かって僅かに湾曲した舌片状に形成されている。また、先端部11aはホルダ本体10の表面10aと離間させてあり、先端部11aからのカードの差し込みを容易にしている。

【0015】第2クリップ片12は、第1クリップ片11とほぼ同じ形状（舌片状）に形成されている。また、先端部12aはホルダ本体10の表面10aと離間させてあり、先端部12aからのカードの差し込みを容易にしている。ここで、第2クリップ片12は、第1クリップ片11とは逆向きに延出しており、第1クリップ片11の先端部11aの近傍から延出して同クリップ片11の基部近傍に先端部12aが配置されている。したがって、第2クリップ片12に対するカードの差し込み方向は、第1クリップ片11と逆の方向になる。

【0016】すなわち、図2（a）（c）に示すごと

く、第2クリップ片12の先端部12a側から差し込まれたカード1は、同クリップ片12と第1クリップ片11、11との間で、第2クリップ片12の弾性力をもって保持される。一方、図2（b）（d）に示すごとく、第1クリップ片11の先端部11a側から差し込まれたカード1は、同クリップ片11と第2クリップ片12との間で、第1クリップ片11の弾性力をもって保持される。これら各操作において、カード1の差し込み方向は逆向きとなり、したがって、いずれの方向からもカード1を差し込み保持させることができるので、良好な操作性を得ることができる。

【0017】次に、本発明の第2実施形態に係る自動車用カードホルダについて説明する。図3及び図4は本発明の第2実施形態に係る自動車用カードホルダを示している。図3に示す自動車用カードホルダは、自動車室内に装着されるホルダ本体20の表面20aからクリップ片21が延出しており、これら各部が樹脂成形により一体成形されている。

【0018】ホルダ本体20は、前述した第1実施形態におけるホルダ本体10と同様の構成をしており、平坦な表面20aがカードの受面を形成している。ホルダ本体20の背面からは、自動車室内へ装着するための係止爪22（先の係止爪13に相当）が形成しており、例えば、自動車の室内壁にあらかじめ形成されているオプション部品の装着孔にホルダ本体20を嵌め込み、該装着孔の周縁部に係止爪22を係止することで、簡易に装着可能となっている。

【0019】クリップ片21は、基部21aから中間部21bにかけての領域がホルダ本体20の表面20aに沿って延びる第1クリップ部23を形成するとともに、中間部21bが逆向きに折り返されて、該中間部21bから先端部21cにかけての領域が第2クリップ部24を形成している。この第2クリップ部24は、第1クリップ部23に沿って延在しており、先端部21cは基部21aの近傍位置に配置されている。本実施形態では、第1クリップ部23及び第2クリップ部24の各々がカード1を保持する機能を備えており、各クリップ部23、24に対するカードの差し込み方向は逆向きとなっている。

【0020】すなわち、図4（a）（d）に示すごとく、第2クリップ部24の先端部（クリップ片21の先端部21c）側から差し込まれたカード1は、同クリップ部24と第1クリップ部23との間で、第2クリップ部24の弾性力をもって保持される。一方、図4（b）（e）に示すごとく、第1クリップ部23の先端部（クリップ片21の中間部21b）側から差し込まれたカード1は、同クリップ部23とホルダ本体20の表面20aとの間で、第1クリップ部23の弾性力をもって保持される。これら各操作において、カード1の差し込み方向は逆向きとなり、したがって、いずれの方向からもカ

ード1を差し込み保持させることができるので、良好な操作性を得ることができる。さらに、図4(c)(f)に示すごとく、各クリップ部23、24には、同時にカード1を差し込み保持させることが可能であり、利便性が良い。

【0021】なお、第1クリップ部23には軸線に沿って切欠き25が形成してあり、また第2クリップ部24の下面にはこの切欠き25と対応して凸条26が形成してある。凸条26は、切欠き25に内に常時入り込んでいるが、第2クリップ部24の下側にカード1が差し込まれると、第2クリップ部24と一体に弾力的に撓み、カード1の上面を押圧する。このとき、凸条26の高さ分だけ第2クリップ部24の撓み量が多くなるため、カードの保持力(第2クリップ部24の弾性力)が増大する。

【0022】次に、本発明の第3実施形態に係る自動車用カードホルダについて説明する。図5及び図6は本発明の第3実施形態に係る自動車用カードホルダを示している。図5に示す自動車用カードホルダは、自動車室内に装着されるホルダ本体30の表面30aから該表面30aに沿って延出する第1クリップ片31を備えており、さらに第1クリップ片31の中腹部には切欠き32を形成して、該中腹部に第2クリップ片33を形成してあり、これら各部が樹脂成形により一体成形されている。

【0023】ホルダ本体30は、前述した第1、第2実施形態におけるホルダ本体10、20と同様の構成をしており、平坦な表面30aがカードの受面を形成している。ホルダ本体30の背面からは、自動車室内へ装着するための係止爪34(先の係止爪13、22に相当)が形成してあり、例えば、自動車の室内壁にあらかじめ形成されているオプション部品の装着孔にホルダ本体30を嵌め込み、該装着孔の周縁部に係止爪34を係止することで、簡易に装着可能となっている。

【0024】第1クリップ片31は、ホルダ本体30の表面30aに沿って延出している。この第1クリップ片31は、中間領域がホルダ本体30の表面30aに向かって僅かに湾曲した舌片状に形成されている。また、先端部31aはホルダ本体30の表面30aと離間させてあり、先端部31aからのカードの差し込みを容易にしている。なお、この第1クリップ片31は、中腹部に第2クリップ片33が形成されるため、幅広に形成してある。

【0025】第1クリップ片31に中腹部に形成された第2クリップ片33は、第1クリップ片31の軸線に沿ってその先端部31a近傍から基部31b方向に延出しており、該第2クリップ片33の先端部33aは第1クリップ片31の基部31b近傍に配置してある。したがって、各クリップ片31、33に対するカードの差し込み方向は逆向きとなっている。

【0026】すなわち、図6(a)(d)に示すごとく、第2クリップ片33の先端部33a側から差し込まれたカード1は、同クリップ部33と第1クリップ片31との間で、第2クリップ片33の弾性力をもって保持される。一方、図6(b)(e)に示すごとく、第1クリップ片31の先端部31a側から差し込まれたカード1は、同クリップ片31とホルダ本体30の表面30aとの間で、第1クリップ片31の弾性力をもって保持される。これら各操作において、カード1の差し込み方向は逆向きとなり、したがって、いずれの方向からもカード1を差し込み保持させることができるので、良好な操作性を得ることができる。さらに、図6(c)(f)に示すごとく、各クリップ片31、33には、同時にカード1を差し込み保持させることが可能であり、利便性が良い。

【0027】次に、本発明の第4実施形態に係る自動車用カードホルダについて説明する。図7及び図8は本発明の第4実施形態に係る自動車用カードホルダを示している。図7に示す自動車用カードホルダは、自動車室内に装着されるホルダ本体40と、このホルダ本体40の表面40aに沿って配設される四辺形状のクリップ板41とを備えている。

【0028】ホルダ本体40は、平坦な表面40aを有し、この表面40aがカードの受面を形成している。ホルダ本体40の背面からは、自動車室内へ装着するための係止爪42が形成してあり、例えば、自動車の室内壁にあらかじめ形成されているオプション部品の装着孔にホルダ本体40を嵌め込み、該装着孔の周縁部に係止爪42を係止することで、簡易に装着可能となっている。図ではホルダ本体40を四角形状に形成してあり、その一辺の両隅部に凸部40b、40cが表面40aよりも突き出して形成してある。

【0029】クリップ板41は一辺の隅部41aにおいて、ホルダ本体40の凸部40bと結合して、ホルダ本体40と一体となっている。これらホルダ本体40及びクリップ板41は、樹脂成形によって一体成形される。カードは、ホルダ本体40の表面40aとクリップ板41との間に差し込まれ、クリップ板41の弾性力をもって保持されるが、一辺の隅部41aのみでホルダ本体40と結合されたクリップ板41は、図8(a)に矢印a、b、cで示すいずれの方向からカード1が差し込まれても柔軟に弾性変形して該カード1を受け入れることが可能であり、きわめて良好な操作性を有している。また、上記各方向a、b、cから差し込まれたカード1は、ホルダ本体40の一辺に形成された凸部40b、40cによって一定の姿勢に支持される。

【0030】なお、本発明の自動車用カードホルダは、クレジットカードや各種料金支払い用のプリペイドカードに限らず、領収書、駐車チケットなどの紙片をも保持可能である。

## 【0031】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の自動車用カードホルダによれば、複数の方向からカードを差し込み保持することができるので操作性が良好であり、自動車運転中であっても不便を感じることなく自然な操作でカードを差し込むことが可能である。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態に係る自動車用カードホルダの構成を示す図で、(a)は斜視図、(b)は平面図、(c)は左側面図、(d)は正面図である。

【図2】図1に示した第1実施形態に係る自動車用カードホルダの作用を示す図で、(a) (b)は平面図、(c) (d)は正面図である。

【図3】本発明の第2実施形態に係る自動車用カードホルダの構成を示す図で、(a)は斜視図、(b)は平面図、(c)は左側面図、(d)は正面図である。

【図4】図3に示した第2実施形態に係る自動車用カードホルダの作用を示す図で、(a) (b) (c)は平面図、(d) (e) (f)は正面図である。

【図5】本発明の第3実施形態に係る自動車用カードホルダの構成を示す図で、(a)は斜視図、(b)は平面図、(c)は左側面図、(d)は正面図である。

【図6】図5に示した第3実施形態に係る自動車用カードホルダの作用を示す図で、(a) (b) (c)は平面図、(d) (e) (f)は正面図である。

【図7】本発明の第4実施形態に係る自動車用カードホルダの構成を示す図で、(a)は斜視図、(b)は平面図、(c)は左側面図、(d)は正面図である。

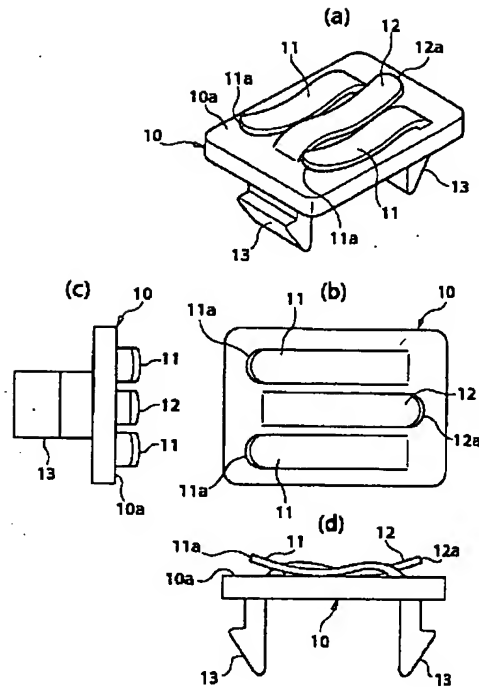
【図8】図7に示した第4実施形態に係る自動車用カードホルダの作用を示す図で、(a)は平面図、(b)は正面図である。

## 【符号の説明】

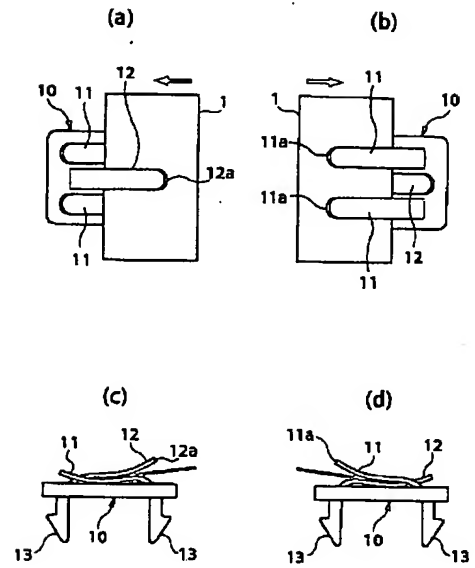
1：カード

10：ホルダ本体  
 10a：表面  
 11：第1クリップ片  
 11a：先端部  
 12：第2クリップ片  
 12a：先端部  
 13：係止爪  
 20：ホルダ本体  
 20a：表面  
 21：クリップ片  
 21a：基部  
 21b：中間部  
 21c：先端部  
 22：係止爪  
 23：第1クリップ部  
 24：第2クリップ部  
 25：切欠き  
 26：凸条  
 30：ホルダ本体  
 30a：表面  
 31：第1クリップ片  
 31b：基部  
 31a：先端部  
 33：第2クリップ片  
 33a：先端部  
 34：係止爪  
 40：ホルダ本体  
 40a：表面  
 40b：凸部  
 41：クリップ板  
 41a：隅部  
 42：係止爪

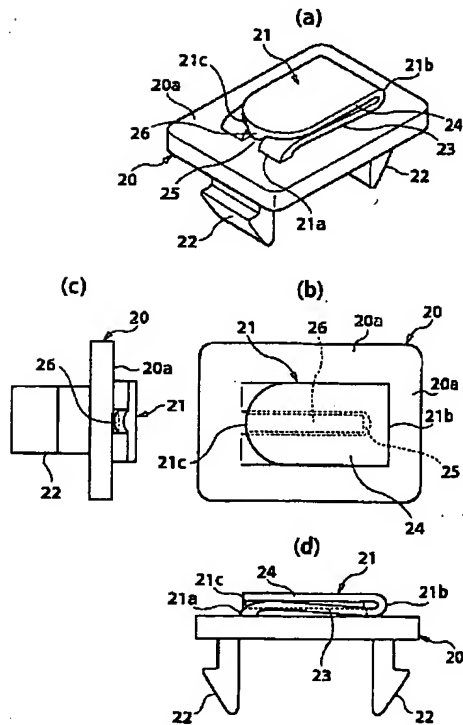
【図1】



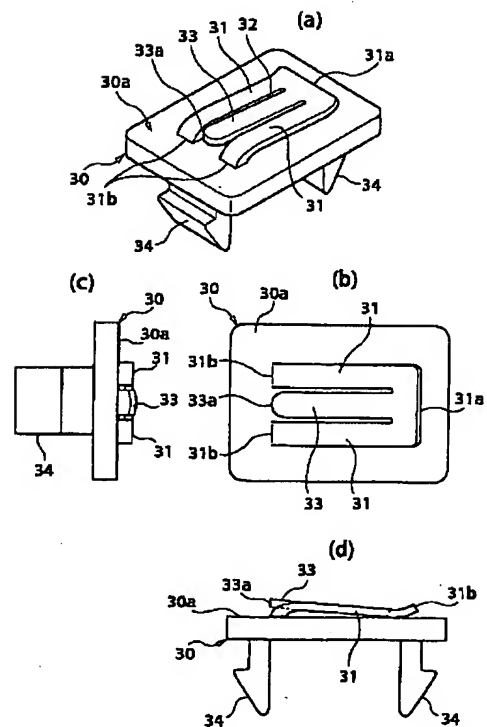
【図2】



【図3】

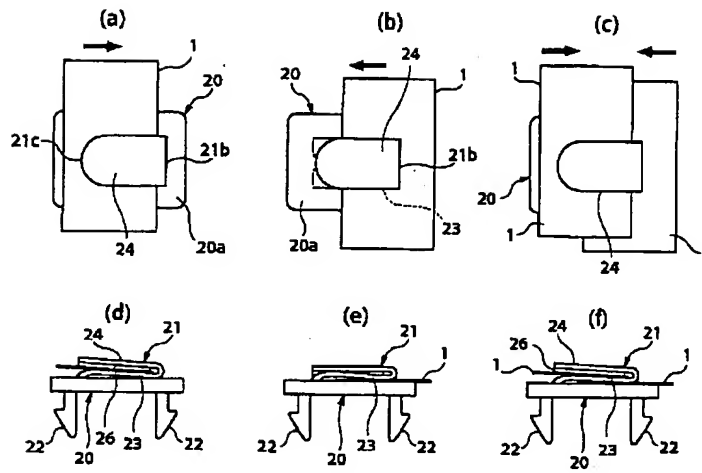


【図5】

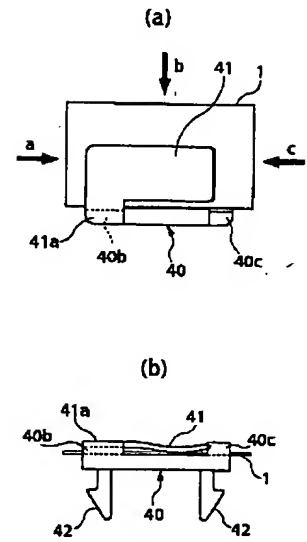




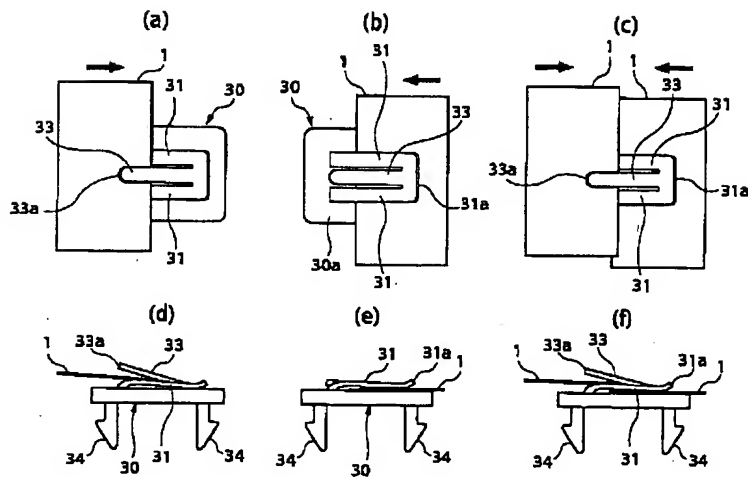
【図4】



【図8】



【図6】



【図7】

